

分散登校時における学習指導の例（国語）

指導事項〔C 読むこと オ〕

文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

指導と家庭学習の計画（案） <教材「大人になれなかった弟たちに……」 光村図書>

曜日	月	火	水	木	金	土日
1週目 ※詳細は「学習計画表」参照	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	週末課題（例）
	<第1時> 学習課題を知り、自分の考えをもつ	<第2時> 時代背景や出来事に注意しながら読み、僕の生活についてまとめる	<第3時> 情景描写や行動描写に注意しながら読み、登場人物の心情についてまとめる	<第4時> ※登校日に学習の進め方を確認し、残りは家庭学習で行う	<第5時> 作者の伝えたかったことについて自分の考えをまとめる（※交流する）	「漢字を確認しよう」ワーク等 ※学習した内容の確認
2週目 ※次單元	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	週末課題（例）
	次単元の教材を読み、分からない語句を辞書で調べる	（※次單元）学習課題を知り、自分の考えをもつ	（※以下省略）	（※以下省略）	（※以下省略）	（※以下省略）

※ 登校日と家庭学習日の学習内容の組み合わせや、児童生徒の学習状況を考慮して、適切な家庭学習を課すようにする。

※ 学習の見通しを持たせたり、ものの見方や考え方を広げたり深めたりする学習は登校日に設定することが望ましい。

→交流については、紙面交流などの工夫が必要

※ 家庭学習を支援したり、家庭学習の内容を指導者が見取るためのワークシートや手引きの作成については別紙参照。

→何を記録に残す必要があるのかを明確に